

科目名	医療コミュニケーション学演習 [科目番号：41018122]		
学期	S 2	単位数	2単位
曜日・授業時間帯	水曜 3 - 4 限		
場所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担当教員	木内貴弘、奥原剛 他		
授業の目的	効果的な医療コミュニケーション (ヘルスコミュニケーション) を行うために必要なスキルを、対人コミュニケーション、メディアを通じたコミュニケーションそれぞれ具体的に取り上げ、演習を行うことによって、「医療コミュニケーション学」の講義で学んだ理論や方略に対する理解を深めるとともに、具体的な医療コミュニケーションの場 (医療機関、官公庁、教育機関、研究機関、患者支援組織、マスコミ等) でこれらを生かすことができるようにすることを目的とする。		
授業の方法	<ul style="list-style-type: none"> 各回、課題にもとづいて演習・発表・討論を行う。 演習毎にプレゼンテーション、レポート提出、相互評価等を行う。 		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	月日	内容	担当
	6月8日(水) 13:00-16:40	ヘルスライティング (1) 患者・家族を支援する説明文書を作る 注意：ノート PC 持参のこと	高山智子 (がんコミュニケーション学)
	6月15日(水) 13:00-16:40	自分を知る・相手を知る MBTI (Myers-Briggs Type Indicator) 演習 (1)	園田由紀 (日本 MBTI 協会)
	6月22日(水) 13:00-16:40	自分を知る・相手を知る MBTI 演習 (2)	園田由紀 (日本 MBTI 協会)
	6月29日(水) 13:00-16:40	自分を知る・相手を知る MBTI 演習 (3)	園田由紀 (日本 MBTI 協会)
	7月6日(水) 13:00-16:40	行動変容を支援するスキル コーチング演習	半谷知也 (LBJ)
	7月13日(水) 13:00-16:40	メディア報道のあり方を考える メディアドクター演習	渡邊清高 (帝京大学)
	7月20日(水) 13:00-16:40	ヘルスライティング (2) 市民の行動変容を促す保健医療文書を作る 注意：ノート PC 持参のこと	奥原剛
	7月27日(水) 13:00-16:40	ヘルスライティング (3) 発表会・総合討論 注意：ノート PC 持参のこと	木内貴弘、高山智子、奥原剛、岡田宏子、後藤英子
教科書・参考書等	<ul style="list-style-type: none"> 石川ひろの 著. 保健医療専門職のためのヘルスコミュニケーション学入門. 大修館書店. 2020 奥原剛 著. 実践 行動変容のためのヘルスコミュニケーション. 大修館書店. 2021 ロジャー・R.ペアマン, サラ・C.アルブリット 著. 園田由紀 訳. MBTI へのいざないーユングの「タイプ論」の日常への応用. JPP. 2012. ヘンリー・キムジーハウス他著. コーチング・バイブル: 人の潜在力を引き出す協働的コミュニケーション(第4版). 東洋経済新報社. 2020 		
成績評価の方法	出席 (60%)、演習内でのプレゼンテーション・作成した資料・レポート (40%) によって評価する。演習への参加が前提となるため、やむを得ず欠席する場合には、事前に事情を届け出ること。特に MBTI 演習は3回とも出席できることを前提とする。		
他の授業との関連	「医療コミュニケーション学」講義の受講は前提としないが、受講していることが望ましい。MBTI 演習については履修登録なしの聴講を認めない。		